

大分雄城台高校



智泉幼児保育専門学校の沖田先生が、大分雄城台高校で保育基礎を選択している3年生（5名）に出前講座を実施してくださいました。

「保育のおしごと」

講師：智泉幼児保育専門学校 沖田先生

R6.9.18(水)

～幼児期に大切なこととは？～

子どもは自ら伸びていく無限大の力を持っています。その力や可能性を大切に、理解し、受容してあげることが幼児期にとって、とても大切です。親からの愛情、保育者からの愛情など、身近な大人からの愛情を受け、心の根っこを深く、強くしていくのです。



子どもとの愛着関係から育まれること

1. あきらめない心
2. 感情を調整する力
3. おもいやりの心

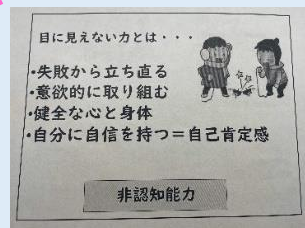


沖田先生は、ご自身が保育施設で働かれていた時のこと、お孫さんのことなど、子どもの姿の具体的な例を挙げて、生徒さん達にも理解しやすいようにお話してくださいました。



夢中になって「しんけん遊ぶ」なかにこそ「満足感」「達成感」「充実感」を感じる。たくさん遊び、そばにいる友達や先生との関係の中で、**力がぐんぐん育っていく！**

PICKUP /



途中、出前講座の様子を見学に来た校長先生も…

子どもの頃は缶蹴りなどを
して遊んでいました！



と、講義内容に参加してくださいました！昔と今、子ども達の遊びも少しずつ変わってきていますが、『**体と心を動かして、思い切り遊ぶこと**』が昔も今も大切なのです。

生徒の感想・学び

◎愛情たっぷり子ども達と接しないと、愛着障害にまでなることを初めて知った。遊びの中で考えさせる問いや、声掛けをいかにしていくかが大切だと思ったし、これから養っていかないといけない。信頼してもらえることは大事なので、子どもが安心して「先生ー！」と駆けつけてくれるような保育士になりたいと思った。

◎子ども達は遊びながら学んでいくため、周りの人達の子どもへのかかわり方が大切ということを学んだ。子ども達のことを認め、気持ちに寄り添えるようになりたいと思った。

◎子どもの心身の成長は保護者が心身共に健康であり、愛情豊かな家庭の中で生活することが影響するために、子育て支援の必要性がわかりました。